

令和7年12月4日

報道機関 各位

富山大学研究発表会「Toyama Academic GALA 2025」 の開催について

富山大学では、本学教職員等の異分野研究の融合と産学連携を目的として、「Toyama Academic GALA 2025」を開催いたします。本イベントでは、様々な分野で活躍する本学の69名の研究者が、自身の研究成果についてショートプレゼンテーション及び、ポスター発表を行います。ポスターのコアタイム発表時には、研究者との交流会も予定しております。

また、研究発表会場内には、学内の様々な取り組みを紹介する展示ブース等も設置し、その一つとして「ラフカディオ・ハーン紹介ブース」を設置いたします。NHK連続テレビ小説「ばけげん」で話題のラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の旧蔵書2,435冊を収蔵した「ヘルン文庫」があり、その貴重な所蔵品の一部を特別に公開し、ハーン研究を行っている中島淑恵教授（人文科学系）の研究についても紹介いたしますので、是非この機会にブースにお立ち寄りください。

その他、技術職員の活動紹介等も展示いたします。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時 令和7年12月9日（火） 9時00分～17時15分
 - ・研究発表ショートプレゼンテーション 13時00分～13時50分
 - ・ポスター・成果物のコアタイム発表 14時00分～17時00分
 - ・学内の様々な取り組み展示ブース 9時00分～17時15分
- 場所 富山大学五福キャンパス学生会館（富山市五福3190）
金森産業ホール（ポスター等の展示とコアタイムの発表）
スギノマシンラウンジ（研究発表ショートプレゼンテーション）
- 発表者 富山大学教職員，大学院生
- 参加対象 富山大学教職員，大学生・大学院生他機関研究者，企業・行政の担当者
- 申込方法 事前申込不要・入退場自由

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学研究推進部研究振興課（担当：亀谷、小坂、山口）

TEL：076-445-6388 Email：kenshin@adm.u-toyama.ac.jp

University of Toyama Research Presentation

富山大学研究発表会

Toyama Academic GALA2025

参加者申し込み不要
入場無料
入退出自由
No registration
required
Free admission



2025/12/9 (Tue)

9:00~17:15

富山大学五福キャンパス

University of Toyama, Gofuku Campus

○研究発表(Presentation)・・・13:00~13:50

金森産業ホール(学生会館ホール)

Kanamori Sangyo Hall (Student Hall Auditorium)

○ポスター・成果物(作品)の展示(Poster and work exhibitions)・・・9:00~17:15

スギノマシンラウンジ(学生会館ラウンジ)

Sugino Machine Lounge (Student Hall Lounge)

※14:00~17:00コアタイム発表実施

朝ドラ「ばけばけ」で話題の
ヘルン文庫の一部も展示予定!



MAP

対象

Participants

発表者: 富山大学教職員, 大学院生

Presenters: Faculty and staff of the University of Toyama, graduate students

参加者: 富山大学教職員, 大学生・大学院生, 他機関研究者, 企業・行政の担当者

Audience: Faculty and staff of the University of Toyama, University students,

Researchers from other institutions, representatives from industry and government

【問合せ先】 国立大学法人富山大学Toyama Academic GALA2025実行委員会

Contact

E-mail : kenshin@adm.u-toyama.ac.jp

Tel: 076-445-6396

Toyama Academic GALA 2025の概要

1. Toyama Academic GALAとは

富山大学の研究者等が部局を越えて異なる分野の様々な視点から活発な意見交換を行うことにより、研究活動や相互交流の促進、ひいては共同研究のきっかけの場を創出することを目的として、毎年開催しているものです。

2. 研究発表スケジュール

- 9:00～ ポスター・成果物の展示 開始
- 13:00～13:50 研究発表ショートプレゼンテーション
- 14:00～15:00 コアタイム発表（セッションⅠ）
- 15:00～16:00 コアタイム発表（セッションⅡ）
- 16:00～17:00 コアタイム発表（セッションⅢ）

研究発表ショートプレゼンテーションのときコアタイム発表の時間等につきましては、別の一覧表をご覧ください。研究発表は全て事前予約不要・参加自由です。コアタイムでは、軽食も準備しますので、気軽に会場にお立ち寄りいただき、是非、異分野研究者と交流ください。

3. 学内の様々な取り組み展示ブース等（終日 9:00～17:15）

ラフカディオ・ハーン紹介ブース



本学にはラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の旧蔵書2,435冊を収蔵したヘルン文庫があります。本学中島淑恵教授（人文科学系）はハーン研究において第一線でご活躍されており、ブースでは所蔵品や中島先生の研究について紹介し、ハーンに関する資料の展示も行います。現在、ハーンの妻、小泉セツをモデルにした、NHK連続テレビ小説「ばけげん」が放映されておりますので、この機会に是非ブースにお立ち寄りください。

技術本部の活動紹介ブース

富山大学では令和7年度より、技術職員が所属する新組織“研究推進技術本部”を設置し、本学の教育・研究活動への支援を強化する体制を整備しました。本ブースでは、個々の技術職員の持つ技術が見える化した技術支援データベースの紹介に加え、技術職員による最近の技術支援内容や、成果物を展示していますので、ぜひご覧ください。この機会が、学生や教員と技術職員との新たな連携、協働のきっかけになれば幸いです。

学術研究・産学連携本部の活動紹介ブース

本学のURA・コーディネーターは、みなさんにより良い研究環境を提供するべく活動しています。本年度はそんな活動内容紹介に加えて「富山大3Questions 2025トライアル」を開催。完全匿名の付箋による対話を通じて、専門や職階といった偏見のない、普段は思いもかけないコメントが、あなたの研究に新たな気づきを与えてくれます。是非お越しください！

TONIO紹介ブース

富山大学のすぐ近くに、TONIO（新世紀産業機構）があることをご存じでしょうか。TONIOは、県内企業と研究者等をつなげ、共同研究を支援する取り組みも行っており、ブースでは様々な取り組みを紹介いただきます。

Toyama Academic GALA2025 発表テーマ一覧表

分野	所属	役職等	氏名	発表テーマ	ショート プレゼン	コアタイ ム発表	ショートプレゼン 発表順 (13:00-13:50)	ポスター No.	コアタイム発表時間 Ⅰ 14:00-15:00 Ⅱ 15:00-16:00 Ⅲ 16:00-17:00
①創薬・ヘルスケア	医学薬学教育部（博士課程）生命・臨床医学専攻	大学院生（博士）	NGUYEN HONG HUNG	Grandifloridin D: a potent antiausterity agent targeting pancreatic cancer cells via Akt/mTOR and autophagy inhibition	○	○	1	①-1	Ⅰ
	医薬理工学環（博士前期課程）メディカルデザインプログラム	大学院生（修士）	上田 壮汰	簡便でありながら長時間にわたり天然のニューロン活動を記録できる遅延穿孔パッチ法	○	○	2	①-2	Ⅱ
	医薬理工学環（博士前期課程）メディカルデザインプログラム	研究員	Pitchayakarn Takomthong	Structure-Activity Relationships of Naphthylisoquinoline Derivatives as OXPHOS Inhibitors in Pancreatic Cancer	○	○	3	①-3	Ⅲ
	医薬理工学環（博士前期課程）メディカルデザインプログラム	大学院生（修士）	柏 遥香	EV-SELEX法によって創製した新世代鎮痛薬核酸アプタマー	○	○	4	①-4	Ⅱ
	薬学・和漢系	准教授	赤沼 伸乙	細胞膜透過ペプチドangiopep-2の網膜色素上皮細胞への輸送特性とタンパク質送達への有望性	-	○	-	①-5	Ⅰ
	薬学・和漢系	講師	藤井 拓人	α3型ナトリウムポンプを標的とした血中循環がん細胞治療基盤の構築	-	○	-	①-6	Ⅲ
	医学系	教授	高雄 啓三	脳内局所的cGMP産生による記憶力増強	○	○	5	①-7	Ⅰ
	研究推進機構研究推進技術本部（研究基盤部門）	技術職員	宮田 実咲	In vivoゲノム編集と行動解析を組み合わせた効率的な遺伝子機能解析手法の確立	○	○	6	①-8	Ⅱ
	薬学・和漢系	特命助教	Juthamart Maneenet	Calliviminone A from Callistemon citrinus leaves as potent antiausterity agents against PANC-1 human pancreatic cancer cells	○	○	7	①-9	Ⅲ
	薬学・和漢系	助教	中嶋 優	MAFLD治療を見据えた天然物探索：生薬からの新規作用分子の発掘	○	○	8	①-10	Ⅰ
	薬学・和漢系	特命准教授	岡田 康太郎	非晶質固体分散体の高品質化を目指した時間領域NMRによる均一性の解析	○	○	9	①-11	Ⅱ
	薬学・和漢系	准教授	沖津 貴志	脱芳香族的コード環化を基軸とする高難度スピロ環合成法の開発	※		-	①-12	-
②医療・保健	工学系	教授	中島 一樹	非線形解析手法による老若男女入浴の自律神経活動の評価	○	○	10	①-13	Ⅰ
	医学系	准教授	今村 輝彦	呼吸安定時間（RST）が心不全マネジメントを変える ― 悪化1か月前に捉える新戦略とは！？	○	○	11	②-1	Ⅰ
	医学系	助教	Asmaa Abushawish	Analysis of Fluoroquinolone Resistance in ESBL-Producing E. coli: Genetic Determinants and Prevalence in Clinical Samples from Toyama University Hospital	-	○	-	②-2	Ⅱ
	医学系	助教	Rudy Hermawan	Binary Interaction of Human Skin Commensal Bacteria Against Multidrug-Resistant Candida auris	○	○	12	②-3	Ⅲ
	医学系	教授	伊藤 哲史	「ことば」音認知とその障害の神経基盤の解明	※		-	②-4	-
	医学系	特命助教	武島 健人	医療専門職はどのようなプロセスによってチームが機能していると認識するのか？	○	○	13	②-5	Ⅱ
	医学系	特命助教	Mariam Karim	Epigenetic Consequences of Early NAD ⁺ Decline: Why Muscles Weaken and Aging Accelerates	○	○	14	②-6	Ⅲ
	医学系	助教	一萬田 正二郎	低体温症の臨床病理学的特徴とその背景疾患の解明	○	○	15	②-7	Ⅰ
	医学系	助教	温井 孝昌	血中ATP濃度を指標としたサルコペニア診断法の確立	-	○	-	②-8	Ⅱ
③生命科学	医学系	助教	奥野 のり子	The mechanism of perivascular fibroblast activation in demyelinating lesions of the mouse brain	-	○	-	②-9	Ⅱ
	医学系	講師	安村 美里	LARを特異的に二量体化し、神経突起伸長を促進する環状ペプチドの同定	○	○	16	③-1	Ⅰ
	研究推進機構研究推進技術本部（機器分析部門）	技術職員	平山 瑠那	AAVによる NF-κB p65 発現はマウスに IgE 上昇を伴う非典型的な炎症を誘導する	○	○	17	③-2	Ⅱ
	医学系	助教	藤井 一希	Ovariectomy attenuates phenotypes related to Alzheimer’s disease in a preclinical mouse model and in C57BL/6 J mice	○	○	18	③-3	Ⅲ
	総合医薬学研究科（博士課程）総合医薬学専攻生命・臨床医学プログラム	大学院生（博士）	門馬 楽美	中枢神経系特異的 Itch 欠損マウスは、活動量の増加、不安様行動の減少、認知機能の低下示す	○	○	19	③-4	Ⅰ
	理工学研究科（博士後期課程）理工学専攻サステイナブル地球環境学プログラム	大学院生（博士）	Michael Julian Haryanto	Overlooked Tidal-induced Water and Nutrient Dynamics in a Continental Shelf, Quantified using Rare Earth Elements	○	○	20	③-5	Ⅱ
	薬学・和漢系	教授	中川 嘉	腸肝連関に作用する中鎖脂肪酸の 生活習慣病改善メカニズムの解明	○	○	21	③-6	Ⅲ
	医学系	准教授	宮本 大祐	恐怖記憶における性差と睡眠依存性	※		-	③-7	-
	薬学・和漢系	講師	平野 哲史	化学物質による神経炎症の惹起を指標とした新たな神経毒性バイオマーカーの解明	○	○	22	③-8	Ⅰ
	薬学・和漢系	助教	手賀 悠真	膠芽腫細胞による血液脳関門ABCB1の機能変動	※		-	③-9	-
	医学系	特命助教	Khaled Ghandour	Mechanisms Underlying Multisensory integration and Cross-Modal Learning	○	○	23	③-10	Ⅲ
	医学系	特命助教	菊地 尚平	XIAPを標的とした新規多発性骨髄腫治療の開発	※		-	③-11	-
	医学系	助教	瀬戸川 剛	報酬価値に基づく行動決定における前頭葉-線条体神経ネットワークの役割の解明	○	○	24	③-12	Ⅰ

④数物理学・化学	理学系	助教	岡本 一央	有機電解合成を基盤とするファインケミカル製造技術の開発	○	○	25	④-1	Ⅲ
	薬学・和漢系	助教	笠間 建吾	(±)-Integerrines B-Fの全合成	○	○	26	④-2	Ⅲ
	工学系	教授	川口 俊宏	ブラックホールからほぼ光の速度で噴き出るジェット現象の発生条件解明	○	○	27	④-3	I
	理学系	講師	横山 初	ウェルビーイングに役立つフラボノイドを選択的に作り分ける合成法の開発	○	○	28	④-4	Ⅱ
	理工学研究科（博士前期課程）特別研究学生	大学院生（修士）	田口 竜一	広帯域テラヘルツ分光法による植物ホルモンの評価	○	○	29	④-5	Ⅲ
	理学系	講師	岩村 宗高	水溶液中における発光性分子集合体の構造コントロール	○	○	30	④-6	I
	理学系	特命助教	高森 敦志	錯体配位子を組み込んだ発光性配位高分子の開発	-	○	-	④-7	Ⅱ
	理学系	特命助教	Kaiyana Sundaram Shalini Devi	CNT/Metal Organic Frameworks composite on Laser induced Graphene Electrodes for Chloramphenicol Detection.	○	-	31	④-8	-
	理学系	准教授	山元 一広	重力波で宇宙を探る（KAGRAと富山大学）	※		-	④-9	-
⑤人文・社会科学	人文科学系	講師	重松 潤	「問いかけ」は考え方の変化を促すのか？：実験臨床心理学的検討	○	-	32	⑤-1	-
	人文科学系	准教授	野澤 豊一	富山県の獅子舞：現代的な継承形態	-	○	-	⑤-2	Ⅱ
	社会科学系	助教	山本 真人	生物多様性保全の観点による富山市の地域構造の可視化	○	○	33	⑤-3	Ⅱ
	人文科学系	講師	福島 亮	「ポスト・コロンプス」はいかに表象され、受容されてきたか：「ウカマウ集団」富山上映会の事例から考える	-	○	-	⑤-4	Ⅲ
	人文科学系	講師	須永 修枝	「独立していても排除される」：ロンドンのソマリランド女性の政治参加の現状	○	○	34	⑤-5	Ⅲ
	社会科学系	助教	Zhai Weiyang (翟 唯揚)	Inflation expectations in Japan: Forecast revision and forecast trend	○	○	35	⑤-6	Ⅱ
	人文科学系	准教授	長村 祥知	「翁源指・玄旨関連資料」の基礎的研究	○	○	36	⑤-7	I
	人文科学系	講師	次田 瞬	AIは言葉の意味を理解できるか	○	-	37	⑤-8	-
	人文科学系	講師	高城 隆一	鹿児島県方言の音節末子音	-	○	-	⑤-9	Ⅲ
	人文科学系	教授	中島 淑恵	富山大学附属図書館所蔵小泉八雲旧蔵書（ヘルン文庫）書き込み調査成果報告	-	○	-	⑤-10	Ⅱ
	社会科学系	特命助教	松本 知己	Examining Bargaining Power in Licensing Fee Contracts of Japanese News Aggregation Platforms	-	○	-	⑤-11	Ⅱ
	社会科学系	教授	Geetha Mohan	石川県と富山県の沿岸域における自然災害が漁業者の生活観と主観的幸福感に与える影響	○	○	38	⑤-12	Ⅲ
⑥カーボンニュートラル	工学系	特命講師	何 英洛	Fe系触媒を用いたCO2水素化における高級アルコール選択的に合成	-	○	-	⑥-1	Ⅱ
	理学系	特命助教	小林 英貴	地球システムモデルによる海洋生物地球化学の数百年規模予測	※		-	⑥-3	-
	工学系	特命助教	保田 修平	炭素循環社会構築のための高性能C1化合物転換用固体触媒の開発	○	○	39	⑥-2	Ⅲ
⑦軽金属・材料	工学系	助教	船塚 達也	アルミニウムチップ材の熱間押出し加工を用いた 直接水平リサイクル手法の開発	-	○	-	⑦-1	Ⅲ
	都市デザイン学系	准教授	竜田 尚希	道路構造物に埋設された鋼材の腐食を磁気で探る非破壊研究法の開発	○	○	40	⑦-2	Ⅱ
⑧電気・電子・機械・情報工学	工学系	教授	森本 勝大	世界一低い電圧で光るOLED	○	○	41	⑧-1	I
⑨データサイエンス	都市デザイン学系	特命助教	神野 拓哉	r面放射対流平衡実験における熱帯低気圧の発生に関するデータ駆動型モデリング	-	○	-	⑨-1	I
	教育学部	研究員	成瀬 喜則	教師のウェルビーイングと探究マインドを育む環境整備	○	○	42	⑨-2	Ⅱ
⑩文化財保護	発表者なし								
⑪異分野交流	医薬理工学環（博士前期課程）メディカルデザインプログラム	大学院生（修士）	加藤 慧希	大腸がん肝転移におけるFUT8の役割と光イメージングによる微小環境解析	-	○	-	⑪-1	Ⅲ
	医薬理工学環（博士前期課程）メディカルデザインプログラム	大学院生（修士）	松本 千寛	ラマン分光法と多変量解析を用いた癌診断における新たな診断指標の発見	○	○	43	⑪-2	I
	医薬理工学環（博士前期課程）メディカルデザインプログラム	大学院生（修士）	二上 大悟	画像が人に与える快不快度を予測する言語モデルAIの開発	○	○	44	⑪-3	Ⅱ
	工学系	特命教授	大嶋 佑介	Well-being教育と未病研究が織りなす異分野融合の新たな可能性	○	-	45	⑪-4	-
	医学系	准教授	松本 惇平	動物の社会行動解析技術の開発	-	○	-	⑪-5	Ⅲ
⑫その他	理学系	教授	田中 大祐	富山県の大気中における嫌気性芽胞菌の動態と健康影響ポテンシャルの解明	-	○	-	⑫-1	Ⅲ

※は、発表者が当日、出張等のためにポスター掲示のみを行う発表テーマ